

2012年4月19日

エムシードゥコー株式会社
西日本鉄道株式会社

日本初！(1) 福岡市内バス停留所上屋で Wi-Fi サービスを開始 4月23日から天神・博多などバス停 10 箇所で実証実験スタート

- 福岡市内の広告付きバス停留所上屋(バステラス)に、「ソフトバンク Wi-Fi スポット(2)」を導入します。
- バスの待ち時間など、バス停にいながら手軽に高速インターネットが利用可能となることで、観光・グルメ・交通など各種情報の検索が容易にできるようになります。
- 本サービスは、2012年4月23日から天神・博多地区など市内10箇所のバス停で実証実験を開始し、本年9月以降、順次サービスを拡大する予定です。

(1) 2012年4月時点 エムシードゥコー(株)調べ

(2) 「ソフトバンク Wi-Fi スポット」とは

駅や空港、カフェなどを中心に全国で利用できる、ソフトバンクモバイルが提供する公衆無線 LAN サービス。今回、バス停においても iPhone や iPad、スマートフォン、ケータイ Wi-Fi 対応機種で、Wi-Fi を利用した高速通信が可能となります。



エムシードゥコー株式会社(東京都千代田区、社長:ジャンコーム ランフランキ)と西日本鉄道株式会社(福岡市中央区、社長:竹島 和幸)は、福岡市の美しい景観づくりへの寄与および都心部の賑わい創出を目的として、2006年から広告付きバス停留所上屋(愛称:バステラス)を整備してまいりました。

今般、このバステラスにソフトバンクモバイル株式会社(東京都港区、社長:孫 正義)が「ソフトバンク Wi-Fi スポット」を設置し、2012年4月23日(月)から福岡市内の10箇所のバス停で実証実験を開始します。バスをご利用のお客さまや観光客の皆さまで、ソフトバンクのスマートフォンやタブレット端末等をお持ちの方であれば、バス停にいながら手軽に高速インターネットが利用でき、観光・グルメスポットや交通情報などの検索がスムーズに行えるため、バス停を情報共有のプラットフォームとして活用できます。また、Wi-Fi サービスおよびインターネットは災害時における情報通信インフラとしても重要な役割を果たします。

実証実験は約5ヶ月間を予定しており、この間お客さまの利用状況等を検証した上で、本年9月以降、福岡市内のバステラスに本サービスを順次拡大する予定です。これまで、他都市のバス車内やバス停標柱で Wi-Fi サービスが導入された事例はございましたが、バス停留所上屋への導入は日本初の試みとなります。

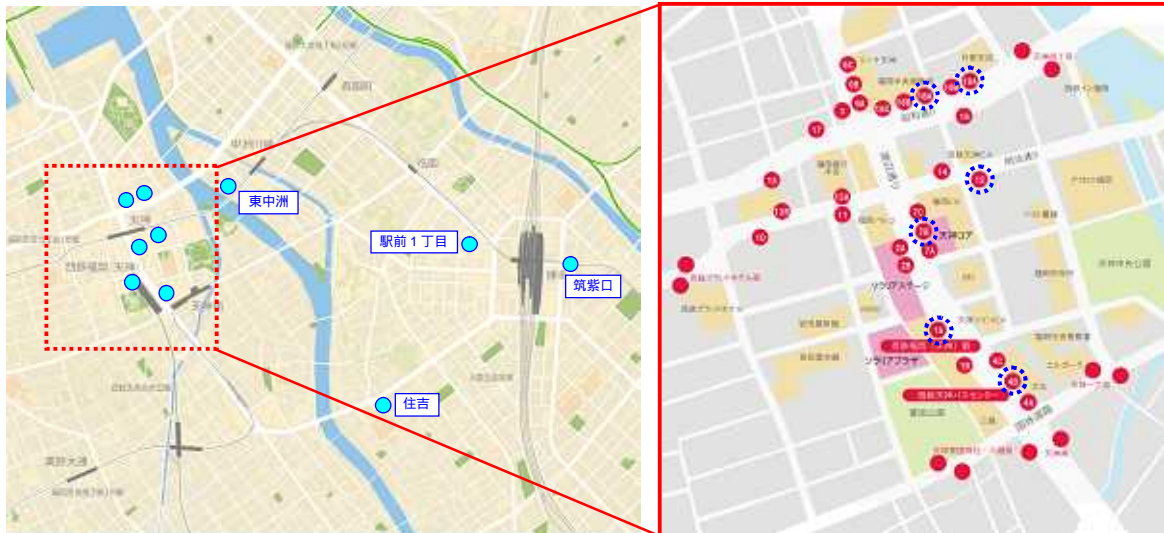
「バスの待合空間」という従来機能に、「道路上における公共インフラ」機能を付加することで、バス停の利便性・サービス機能の向上を図るとともに、福岡都心部のさらなる魅力向上に貢献できればと考えております。

バス停留所上屋における「ソフトバンク Wi-Fi スポット」導入の概要

【開始日】 2012年4月23日(月)

【提供箇所】 福岡市内 10 箇所の広告付きバス停留所上屋(バステラス)

バス停名	所在地	バス停名	所在地
天神バスセンター三越前 1A(南側)	中央区天神 2-3	天神日銀前 19A	中央区天神 4-2-1
天神大丸前 4B	中央区天神 1-366-1	住吉(西行)	博多区住吉 4-291
天神コア前 7B	中央区天神 1-99	東中洲(東行)	博多区中洲 5-3-2
天神福ビル前 12	中央区天神 1-90	駅前1丁目(北行)	博多区博多駅前 2-19-25
天神中央郵便局前 18A	中央区天神 4-3-1	筑紫口(南行)	博多区博多駅前 2-1



バステラス「ソフトバンク Wi-Fi スポット」
(●印の箇所)

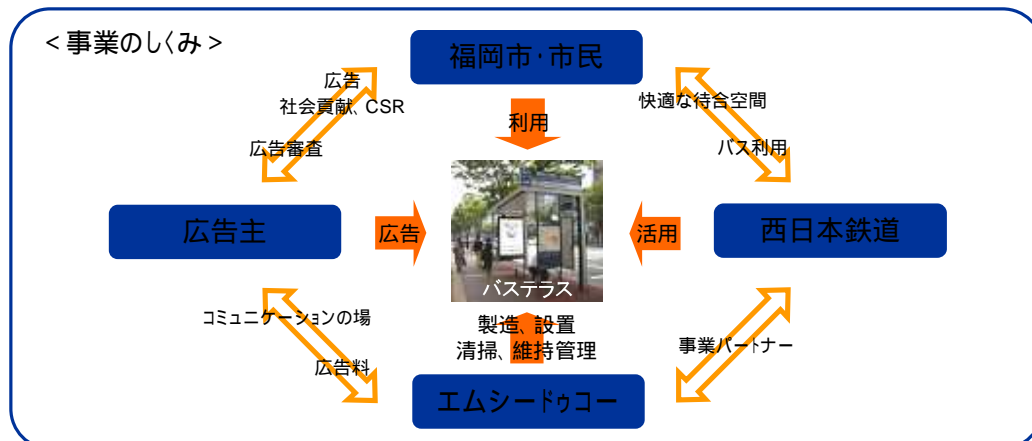
天神地区拡大図
(⊙印の箇所)

【告知方法】 大型告知ポスターの掲出(4月23日(月)～5月6日(日))
ステッカーの貼付

(参考) 広告付きバス停留所上屋(愛称:バステラス)の概要

上屋の製造、設置、その後の維持管理にかかる全ての費用を、上屋に添加する広告パネルの広告料収入でまかなうため、自治体や市民、バス事業者の費用負担は一切発生しません。今回掲出する Wi-Fi サービス開始の告知ポスターの広告料収入も、上屋の整備費用に充てられます。

福岡市では2006年11月からバステラスの設置が始まり、現在は市内に110基が整備済みです。2009年には、福岡市都市景観賞を受賞しました。



(参考)エムシードゥコー株式会社 会社概要

- 【所在地】 東京都千代田区神田錦町 3-23
- 【事業内容】 商業施設敷地内での広告メディア開発と広告スペース販売
ストリートファニチャーによる広告メディア開発と広告スペース販売
- 【沿革】 フランスの屋外広告会社ジェーシードゥコー社と三菱商事(株)の合併会社として 2000 年に設立。同年イオングループ各社と提携し、モールスケープ®(大型複合商業施設広告メディアネットワーク)を開始。2003 年岡山市にて B-Stop®事業をスタート。日本初のシティスケープ®(都市型屋外広告メディアネットワーク)が誕生。2004 年イトーヨーカドーと提携し、モールスケープ®が日本を代表する 2 大流通をカバー。
2012 年現在、シティスケープ®は 39 都市約 1,350 基、モールスケープ®は 163 店舗約 1,450 基に拡大。ストリートファニチャーそのもののデザイン性に加え、市民や自治体の負担なく道路上のインフラを整備維持管理するという事業の仕組みも評価され、経済産業大臣賞(05 年)、グッドデザイン賞(05 年)、名古屋市景観賞(07 年)、ひろしま街づくりデザイン賞(10 年)、福岡市都市景観賞(10 年)など数多く受賞。

(参考)西日本鉄道株式会社 会社概要

- 【所在地】 福岡県福岡市中央区天神一丁目 11-17
- 【事業内容】 鉄道および自動車による運送事業、航空運送代理店業、不動産の売買および賃貸業、遊園地・植物園等の経営 その他
- 【沿革】 前身である九州電気軌道(株)は、1908 年に発足。1942 年、九州電気軌道・九州鉄道・博多湾鉄道汽船・福博電車・筑前参宮鉄道の 5 社が合併して西日本鉄道(株)が誕生。翌 43 年から 44 年にかけて福岡県下のバス会社を統合し、今日の事業基盤を確立。
西鉄グループ全体の売上高は 3,553 億円、日本最大規模である自動車部門と天神大牟田線・貝塚線の 2 線を有する鉄道部門で、1 日に約 106 万人を輸送。国際物流・都市開発・住宅などの兼業部門も順調な発展を続けている。

(参考)ソフトバンクモバイル株式会社 会社概要

- 【所在地】 東京都港区東新橋一丁目 9-1
- 【事業内容】 移動体通信事業およびこれに付随する業務等
移動体通信にかかわる電気通信用品およびシステムの保守、販売
電気通信に関するソフトウェアの製作および販売
- 【沿革】 1986 年鉄道通信(株)(現:ソフトバンクモバイル(株))設立。2006 年にソフトバンクモバイル株式会社に変更。2011 年、累計契約数が 2,500 万件を突破。2012 年、2 年連続年間純増数 No.1 を獲得。「ソフトバンク Wi-Fi スポット」、24 万箇所を突破。

本リリースに関するお問い合わせ先

広告付きバス停留所上屋事業 / Wi-Fi サービスの導入について
エムシードゥコー(株) 事業開発部 担当:猪爪(イノツメ) 03-5217-2514

広告について
エムシードゥコー(株) セールス本部 担当:高橋 092-452-4662

バスの停留所 / バスの運行について
西鉄お客さまセンター 0570-00-1010

ソフトバンク Wi-Fi スポットについて
ソフトバンクモバイル(株) 0800-919-0157

福岡市都市景観賞について
福岡市住宅都市局都市景観室 092-711-4395

* SSID (ESSID) は、「0001softbank」となります。

* iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

* プレスリリースに掲載されている内容、サービス / 製品の価格、仕様、お問合せ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。